

令和6年度
中央区立環境情報センター環境講演会

2024
11/24日

午後2時～3時45分

対象 中学生以上の方

定員 70人(申込多数の場合区民の方優先)

参加費 無料

申込期間 10月15日(火)～11月14日(木)

⇒10月15日(火)から11月14日(木)までに
電話または環境情報センター「エコノバ」
ホームページからお申込みください。

参加特典

クロマグロまたはフンボルトペンギンの
イラスト入り海洋プラスチックボールペン
などをプレゼントいたします。

生きものの魅力をみなさん自身に体感して
もらうとともに保全教育における動物園・
水族館の取り組みを紹介します！

講師

天野 未知氏

公益財団法人
東京動物園協会
教育普及センター 所長



東北大学農学部で海洋生物を学んだ後、平成
元年に、オープンしたばかりの葛西臨海水族園に
入社しました。

以降、水族園だけでなく井の頭自然文化園や
多摩動物公園で、子ども向けの体験型プロ
グラムやフィールド観察会など、様々な教育普及
活動に携わってきました。

趣味は素潜りや里山歩き、両生類の飼育など。

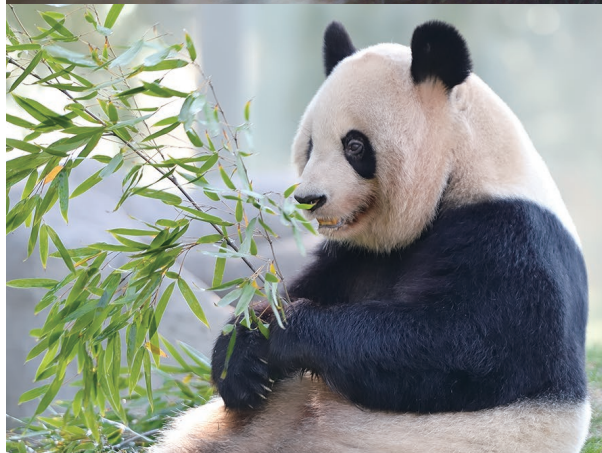
講演会の様子をLIVE配信！！

たくさんの方にご覧いただけるよう、
YouTubeでの同時中継を行います。
ぜひ、ご覧ください！▶



生物多様性保全に貢献する
動物園・水族館の取り組み

生きものつまずい！
おもしろい！



生きものって すごい！ おもしろい！

生物多様性保全に貢献する
動物園・水族館の取り組み

令和6年度環境講演会の内容

動物園・水族館は生きものの飼育だけでなく、生物多様性の保全に貢献すべく様々な活動を行っています。

そのなかでも生きものの魅力を体験的に学んでもらう教育活動は、動物園・水族館の重要な役割です。

講演会では生きものの魅力をみなさん自身に体感してもらうとともに保全教育における動物園・水族館の取り組みを紹介します。

生物多様性とは？

「生きものたちの豊かな個性とつながりのこと」

地球には、約3000万種類の生きものがいるといわれていて、おたがいに関わりあって生きています。

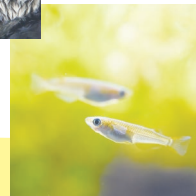
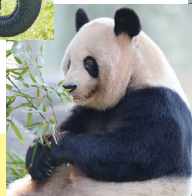
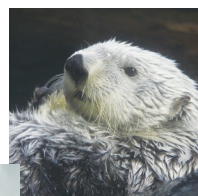
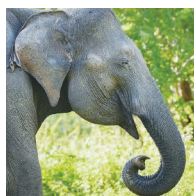
水や空気、食料などは生態系からの恵み。

私たちの暮らしは、いろいろな生きものが関わりあう豊かな生態系によって支えられています。



ですが……

私たち人間の活動を主な原因とする問題によって絶滅したり、絶滅が心配される生きものが増え、生物多様性がおびやかされています。



絶滅危惧種にはこんな動物も

講師の活動紹介

[公益財団法人東京動物園協会]
教育普及センター 所長 天野 未知 氏

希少動物の保護・繁殖や調査・研究、そして「伝えること」

生物多様性
保全への貢献

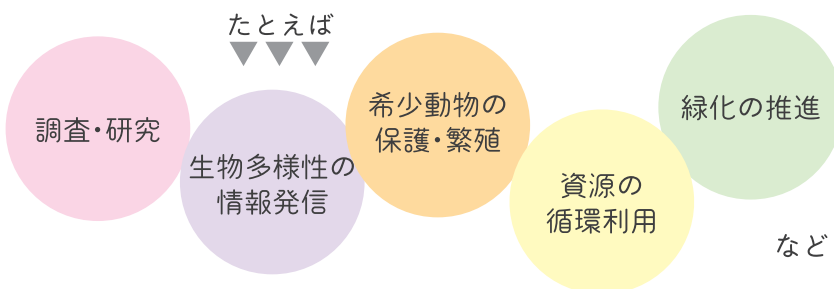
気候危機
への対応

循環型社会
への寄与

地球環境保全に
貢献する
組織基盤の強化

「人と動物の共存への貢献」

生息域内外における希少種の保全に努めるとともに、都立動物園・水族館を「自然への窓口」として生物の魅力や、野生生物の危機的状況について普及啓発しています。



私たちができること。

まずは知ること。